

創立70周年記念行事発進!

新聞に掲載されました

本校は、昭和二十二年四月に開校し、これまでに一万四千九百名の卒業生を送り出してきました。ご存じのように、今年度は創立七十周年を迎えます。

そのため、十二月三日(土)に予定されている記念式典・祝賀会に向けて、佐藤征志実行委員長をはじめ、多くの実行委員の方々が、早くから準備をしてくださっています。また、まちづくり協議会をはじめ、地域の方々も応援してくださっています。

先日、新聞にも掲載されました。皆様のご期待に応えられるよう、教職員・生徒一同、さらに精進していきます。

中体連区内大会結果

野球

対木屋瀬中戦 1-2で惜敗

サッカー

対上津役中戦 3-2で勝利

対沖田中戦 0-1で惜敗

バスケットボール

男子 対則松中戦 惜敗

女子 対永犬丸中戦 敗退

卓球

男子 対則松中、本城中 敗退

女子 予選(対穴生中、引野中、木屋瀬中)勝利→決勝リーグ敗退

陸上

男子 第5位 →市内大会出場

女子 第3位 →市内大会出場

～個人の成績は次号でお知らせします～

クールないかした生徒
マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
ニーズがある(必要とされる)生徒
シーンを創れる(場面を演出できる)生徒

校長室だより
第6号
北九州市立熊西中学校
校長 江口 恵子

西日本新聞 2016年(平成28年)7月8日 金曜日



熊西中学校
校長 江口 恵子

創立70周年!!

まず、学校の紹介をお願いします。

本校は、昭和二十二年四月、新学制の実施により黒崎第二中学校として開校し、昭和二十三年四月に改称して熊西中学校となりました。これまでに一万四千九百名の卒業生を送り出してきました。

本校の学校教育目標は、「言葉育て、心を育て、人を育てる」です。具体的に「くまに」の頭文字どおり、四つのことに取り組んでいます。

まずは、「クールないかした生徒を目指す。言葉遣いや表現、読書活動に力を入れています。毎朝、全校一斉十分間読書活動を行っています。どの生徒もきちんと静まり返った中で黙々と読書に励んでいます。次に、「マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒」にな

ることに努めています。特に、本校生徒の、立ち止まって自分から行う挨拶は、地域の方からいつも感心されています。

三つめは、「ニーズがある(必要とされる)生徒」になるために、生徒それぞれが自分の役割を果たすだけでなく、他の人の役に立てることを目標としています。

最後に、「シーンを創れる(場面を演出できる)生徒」を目指して、学校行事などで最高のシーンを創るために、日々の授業や生徒会活動などに全力で取り組んでいます。

一校区の特長を教えてください。

熊西校区は、JR黒崎駅より西へ徒歩十五分、北側東西に国道三号線、東側南北に国道二百号線が通り、交通の便が大変よい所で、周辺に八幡西警察署、八幡西図書館、黒崎ひびしんホールなどの公共施設が点在する一方、皇后崎公園、松長崎街道、筑前六宿、松並木黒崎貝塚と自然環境や旧跡にも恵まれた文教地区です。黒崎祇園山笠前夜祭

に行われる山笠競演会には、大人も子どもも積極的に参加し、文化の伝承と地域の活性化に意気盛んです。

一校長先生から見た同校の生徒はどんな子どもですか?

本校の生徒は、素直で礼儀正しいというのが第一印象でした。ただ熊中生が他と違うのは、全員が熊中soo(熊西中の精神)を大切にしていることです。だから、その熱いハートで、学校行事等に本気で取り組んだときの団結力には、いつも圧倒されています。今年度は、七十周年の節目を迎え、「凡時徹底」を合い言葉に、さらにStep Upを目指しています。

一特色ある取り組みを教えてください。

本校は、「言葉の力」を高めるために、いろいろな取り組みをしています。特に、毎年秋に行っている校内弁論大会では、全校生徒が自分の生活や社会を見つめた文章を書き、学級弁論大会を経て代表を選出しています。そのため、だんだんレベルアップしており、保護者や地域の方からも好評を得ています。

また、二月の立春の頃行



熊西中学校

一最後に、学校のPRか、何か明るいニュースがあれば。

本校は、福岡県「JA共済」小中学生作文コンクールにおいて、昨年に引き続き今年も、「一等賞」「最優秀賞(福岡県知事賞)」を受賞しました。

また、環境レポートの作成や北九州市環境首都検定の受検など、環境教育にも力を入れており、今年二月に「学校教育環境賞」を受賞しました。

十一月十日(木)には、福岡県中学校国語科研究大会が本校で開催され、多くのお客様をお迎えすることになりました。

ありがとうございました。

北九州市立

熊西中学校

わが町の学校シリーズ109

設置年度	昭和22年
校長	江口恵子
所在地	八幡西区山寺町4-1
生徒数	321名
	(男164名 女157名)
	(平成28年7月8日現在)

企画・制作 西日本新聞広告社北九州

校長先生におたずねしました。学校、校区のいろんなこと。